

公開シンポジウム 「明日の海と食を守る水産海洋サステナビリティ学」

水産資源は、人類にとって再生可能な持続可能な資源のはずですが、前世紀末から乱獲による漁業資源の減少や養殖による沿岸生態系の攪乱と食品安全性への不安という種々の課題を呈するようになってきました。

本シンポジウムでは、海洋生態系と水産食料に関する世代間を越えてニーズを満足させる「世代間衡平性」を確かなものとする「明日の海と食を守る」ため、国際的な協調に向けた環太平洋の研究教育ネットワークの構築を模索することを目的としています。

1. 主 催：日本学術会議農学委員会 PSA 分科会・食料科学委員会水産学分科会、北海道大学大学院水産科学研究院

2. 日 時：平成21年11月7日（土）10：00～17：00

3. 場 所：北海道大学大学院水産科学研究院（函館キャンパス大講義室）
（函館市港町3-1-1）

4. 次 第：

10:00～10:05 開会挨拶

原 彰彦（北海道大学大学院水産科学研究院長・教授）

10:05～11:55 基調講演

（1）世界の持続可能な水産科学の行方

Rashid Sumaila（ブリテッシュ・コロンビア大学 Fisheries Center 所長・教授）

（2）生態系を基本とした漁業管理と気候変動

Chang Ik Zhang（釜慶大学教授）

昼食（60分間）

13:00～15:00 一般講演

（1）アラスカ漁業とエコ・ラベル MSC

William Smoker（アラスカ・フェアバンクス大学）

- (2) 海洋生態系の保全と水産業
桜井 泰憲（北海道大学大学院水産科学研究院教授）
- (3) 水産食資源を守る
吉水 守（北海道大学大学院水産科学研究院教授）
- (4) 水産食資源の持続可能性と海洋生態系
帰山 雅秀（日本学術会議特任連携会員、北海道大学大学院水産科学研究
院教授）

休憩（30分）

15:30～16:55 パネルディスカッション「世界の海と食をどう守るか」

座長：齊藤 誠一（日本学術会議連携会員、北海道大学大学院水産科学
研究院教授）

パネラー：講演者等

16:55～17:00 閉会挨拶

山内皓平（日本学術会議会員・PSA 分科会・水産学分科会委員長、愛媛大学
教授）

【参加申込方法】

参加申込は不要です。当日会場までお越しください。参加費は無料です。

【問い合わせ先】

〒041-8611

函館市港町3-1-1 北海道大学大学院水産科学研究院教授 帰山雅秀

TEL：0138-40-5605